

備前市事務事業評価表

(平成17年度事業)

事務事業名	林道整備事業(吉永)		コード	担当課係	吉永総合支所産業建設課管理係
			04-01-02-02	担当者	吉田正人
事業実施期間			電話	84-2513	
総合計画 事業(政策)体系	大項目	もてなしの心とたくましさのあるまちづくり			
	中項目	豊かな食を支えるまちづくり			
	小項目	林業			
	施策	林道の整備			

事業について	
目的	林道機能の確保及び通行者の安全性の維持。
対象 (誰のために)	林業関係者及び林道使用者
内容	吉永地域内6路線約7.3kmの幹線の林道の草刈等維持管理業務の委託。

事業の結果	17年度		
実施項目	回数など (単位)	回数など (単位)	回数など (単位)
草刈等維持管理業務の委託	7.3 km		

事業費 (単位:千円)	事業費		財源		事業費		財源	
	直接事業費	1,240	国庫補助金等		直接事業費		国庫補助金等	
	人件費	830	受益者負担		人件費		受益者負担	
	合計	2,070	一般財源等	2,070	合計	0	一般財源等	0

必要人員	0.10	人
結果指標名	維持管理業務委託延長	
結果指標量	7.3	
単位	km	
対前年比	—	0.00%
事業費	2,070,000	円
単位当たりコスト①	283,562	円

結果指標名	維持管理業務委託延長	
結果指標量	6	
単位	km	
対前年比	—	0.00%
事業費		円
単位当たりコスト②		円

事業の成果	17年度		
成果指標名	維持管理路線数	式又は説明	維持管理のため目標値の設定はできない。
成果指標量	6		
対前年比	—	0.00%	
到達目標値		到達目標年度	

事務事業の評価		課題認識
目的・対象・内容の妥当性評価	目的の妥当性	従来は集落内林道の草刈等の管理は地元の出会い仕事等で行われていたが、中山間部に於いては近年、過疎、高齢化により、地元での管理が困難になってきているため、市の事業実施の要望が強い。
	対象の妥当性	
	市民ニーズの妥当性	
効率性の評価	市民ニーズの妥当性	従来からの実績を基に作業内容、作業量の見直しを行い作業効率向上に努めている。
	市の関与の妥当性	
	コストの効率化	
有効性の評価	手段の最適化	事業の目的である林道機能の確保と安全性の維持については、おおむね達成できた。
	職場の効率化	
	目的達成度	
市民参画度	成果向上の可能性	事業の目的である林道機能の確保と安全性の維持については、おおむね達成できた。
	市民参画度	
	市民参画度	

総合評価	コメント	評価区分
	林道の維持管理については地元、利用者等にお願したいところもあるが、作業の効率性、安全性を考えると専門の業者等へ市が委託して行うのが適当と思われる。	<A~E> B

今後の方向性	<input type="checkbox"/> さらに重点化する(行政資源を集中的に投入する) <input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する <input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続する <input type="checkbox"/> 休止・廃止を検討する <input type="checkbox"/> 見直しのうえで継続する <input type="checkbox"/> 完了・統合
翌年度結果指標量①	結果指標量②
目標値	成果指標量

改善事項	評価の視点	改善内容	改善時期	改善により期待される効果

事業の目的、対象、内容を考えながら目的の妥当性の評価を行って下さい。

事業費や単位当たりコストに留意しながら効率性の評価を行って下さい。

事業の目的やその数値目標である結果指標に留意しながら有効性の評価を行って下さい。